

視覚のヒミツを探ろう！

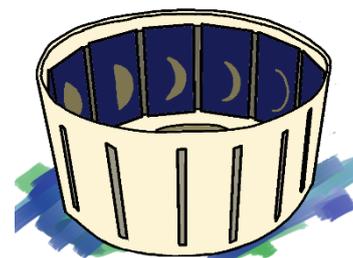


視覚は日常生活の中で無意識に使われている人の五感の1つで、目が光の刺激を受けることで生じる感覚です。視覚は目がとらえた物の形や色だけでなく、周囲の空間の把握、物や空間の明るさを感じる、物を立体的に捉えて奥行きや遠近感を把握する、近くの物と遠くの物を最適に見るように調整するといった様々な働きを含んでいます。この視覚の働きは目だけでなく、目が捉えた情報を処理する脳が深く関わっています。

今回のワークショップは眼と視覚の巧妙な仕組みを探索し、視覚の特徴の1つである残像効果を利用した、静止しているはずの絵が動いて見えるゾートロープを工作して、オリジナルのアニメーションを作ってみます。

【ワークショップの内容】

- ・目の構造、物を見る仕組み、視覚の様々な働きを座学で講義
- ・ゾートロープの工作



日時：2023年7月9日（日）13:30～16:30

場所：明石市立天文科学館 2階 天文ホール

参加費 無料（駐車料金別途）

募集人数 10名。応募多数の場合は抽選になります。

本ワークショップは会員限定です。

募集締め切り **2023年6月30日（金）**

申し込み方法 天文科学館ホームページ内「星の友の会」のページの、サークル活動の項目にある申込フォームから申し込みください。6月16日から受付開始します。

（ホームページからの申し込みが難しい場合は電話等でお問い合わせください。）

抽選の結果は、募集締め切り後に、申込フォームに入力いただいたメールアドレス宛にお送りします。

申し込み 明石市立天文科学館：電話 078-919-5000 星の友の会事務局

お問い合わせ e-mail : hositomo-tenmon@city.akashi.lg.jp

その他 筆記用具(シャープペン、消しゴム、ボールペンなど)を持参してください。

うちゅうかがくサークルワークショップは、会員による手作り勉強会です。

星の友の会会員の方は、どなたでも参加できます。

うちゅうかがくサークルでは「レジン工作」など、次回以降の企画も進行中です。